

11 宇治山田駅前賑わい創出事業

イベントで宇治山田駅前を元気に!!

宇治山田駅前賑わい創出授業は学年、学部を飛び越え、幅広く活動しています。この活動はシンフォニアテクノロジー響ホール伊勢さんと協力しながら12月中頃に冬のフェスティバルの開催をしています。イベントを運営する経験や遊び、クイズの企画、様々な人とのコミュニケーションをとりながら地域の方の笑顔や幸せを創出できます。

メンバー数：23名
活動場所：伊勢市
実施主体：シンフォニアテクノロジー
響ホール伊勢（伊勢市観光文化会館）
担当教員：筒井 琢磨（現代日本社会学部）
活動年度：R02, R03, R04, R05



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

イベントに来てくださった方々がクイズやトランプ遊び、クリスマスを題材としたお絵描き、写真の鑑賞を楽しんでくれた。

今年はマジックショーではなく、トランプ遊びという新しいイベントを追加した。初めての試みであったため、子どもたちが楽しんでいただけると不安があった。しかし、自分から積極的に参加してくれる子どもたちが多かったため、イベント全体の雰囲気明るくなり和やかなムードになり、とてもやりがいを感じた。クリスマスを題材としたお絵描きコーナーもたくさん子どもたちに参加していただき、異なる年齢層の交流の場にもなっていたため、楽しんでもらっていたと感じた。

物販では和紅茶からお菓子まで幅広く販売し、たくさんの方々に買っていただいた。クイズでは去年の物から変更を加え、よりたくさん子どもたちに楽しんでもらえるものを作成した。具体的には、地元の伊勢にまつわるクイズやYouTubeなど、子どもたちが興味ある問題を出すことで楽しんでいただけよう工夫した。他にも2回に分けてクイズを実行し、多くの子どもたちに楽しんでもらうことができた。

大人の方にも楽しんでもらうために今年からは写真部からの提案で写真の展示会も行い、老若男女問わずに楽しめる場となったのではないかと感じた。課題としては、少し盛り上げに欠けたことであると考えられる。去年はマジックショーなどで盛り上がりがあったため、次回からはその代わりとなるイベントを企画していく必要があると感じた。他にもお子さんがいない時間は比較的閑散としているため、子ども以外の方も楽しんでいただけるような取り組みも必要だと感じた。

全体を通して、今年のイベントでは多くの成果を挙げることができたものの、改善が必要な点も明らかになった。参加したメンバー間でフィードバックを交換し、次回のイベントで更に多くの人々が喜びと楽しみを分かち合えるよう、努力しなければいけないと感じた。

月別活動

- 11月 事前会議
イベント企画、レクリエーション作成
- 12月 本番



活動を通して学んだこと

イベントの企画、運営を行うことで運営者、企画者目線での物事の考え方を学ぶことができました。具体例としては、子どもたちがどんなイベントをしたら喜ぶのかという来客者側の目線で物事を考えることなどがあげられます。また、地域の方とたくさん交流することでコミュニケーション能力やその場での対応力など様々な力を培うことができました。

実施主体からのコメント

シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢
ご担当者様

今年度は、和洋菓子・和紅茶の販売など大人が楽しめるブースの他、トランプゲームやクイズ、お絵かきなど子どもが楽しめるコーナーも多く、大変好評でした。また新たに写真部の展示もあり、ゆっくり寛げるスペースを設けられたのも一興でした。

会館は、比較的中高年層の利用が多いため、若年層にアプローチしたいと考えていました。幼児の合唱発表によりホール来場数は昨年倍の200名を超え、ホワイエも同様、活気がありました。

反省点として、後半の入場が少ないことが挙げられます。ホール企画をより集客できるものとし、引き続き家族で楽しめる場を提供したいと考えています。

皇學館CLLの皆さん、子どもの視点に立った企画立案から準備・当日運営まで真摯に対応いただきありがとうございました。また来年度も会館が笑顔であふれるよう、協力よろしく願います。

担当教員より

現代日本社会学部 筒井 琢磨

今年度はおもてなしの対象に小さなお子さんが増えることが予想されたため、新しい工夫をされたことは見事に思います。また、各グループで事業主体様のアドバイスをいただきながら準備を進めて本番に臨まれたことで、グループワークの重要性が確かめられたことでしょう。反省点を次の機会にぜひ生かしてってください。

📣 こんな人におすすめ！

- ・子供と触れ合うことが好きな人
- ・イベントの企画・運営に興味がある人
- ・自分の特技を披露したい人



成果物 / 制作物



クリスマスのお絵描きイベント